

令和7年度

事業報告書

特定非営利活動法人 だーちゃらぼ

近年全国的に不登校児童生徒数は増加傾向にあり、特に小学生段階における支援ニーズは一層高まっている。文部科学省「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」においても、不登校児童生徒数は高い水準で推移しており、子どもたちが安心して過ごせる居場所や、多様な学びの場の必要性が社会的課題となっている。こうした状況のなか特定非営利活動法人だーちゃらぼは、臨床心理士・公認心理師等の専門職を中心とした支援体制を生かし、「子どもが人生を自由に歩む力を育む」ことを目的として、『体験』『相談』『学習』を柱とした支援活動を継続して実施した。例年通り、豊島区駒込の法人事務所で活動を継続しながら、10月以降は豊島区千早に開設した「だーちゃステーション」を新たな活動拠点とし不登校支援および子ども・若者の居場所づくり事業を展開した。旧拠点からの移転に伴い活動スペースや設備面が拡充され、より多様な活動プログラムや相談支援を実施できる体制が整備された。また地域住民、行政機関、教育機関、関係団体等との連携も進み、地域に開かれた支援拠点としての基盤づくりを進めることができた。

若者居場所事業「だーちゃプラス（旧だちゃカフェ）」では、中学生から24歳までの若者を対象に、安心して過ごせる交流の場を提供した。学習、創作活動、交流プログラム等を通じて、学校や家庭以外で他者とゆるやかにつながる機会を創出したほか、不登校経験者や地域の大学生ボランティアとの交流を通して、社会的孤立の予防にも取り組んだ。

令和7年度は活動拠点の移転という大きな転換期であったが、多くの地域関係者や支援者の協力を得ながら、新たな環境のもとで継続的に支援活動を実施することができた。今後も、子ども・若者が安心して過ごし、自分らしく成長できる地域社会の実現に向け、支援体制の充実を図っていく。

以下、令和7年度に実施した各事業の詳細を報告する。

（1）子ども若者の居場所作り事業

不登校や発達特性、社会的孤立などを背景に日中の居場所を必要とする子どもを対象とした「フリースクールだーちゃ」を通年で運営した。令和7年度は活動拠点を豊島区千早の「だーちゃステーション」へ移転し、週5日10:00～15:00の開室を通して、学習支援・生活支援・心理的支援を一体的に提供した。のべ761名が利用し、個別対応や小集団プログラムを通して子どもたちが安心して自己表現し、他者と関わることのできる環境づくりに取り組んだ。活動内容としては、学習支援に加え、創作活動、調理活動、外出活動、グループワーク、心理教育プログラム等を実施し、多様な体験を通じた成長支援を行った。また児童の保護者を対象に定期面談の実施や毎月の活動報告書を提供するなど、在籍校・教育センターとの連携を交えながら、出席認定や支援方針の共有にも継続して取り組んだ。

「だーちゃプラス（旧だちゃカフェ）」については10月に活動を開始し、居場所を必要とする中学生～24歳までの若者を対象として運営を行った。他利用者をはじめ地域の大学生や心理士スタッフとの交流を通じて安心して過ごせる場づくりを行い、のべ52名が利用した。拠点内に談話室、学習室、卓球ができる多目的室を設け、利用目的に応じた過ごし方ができるよう工夫した。談話室では編み物サークル

[ここを入力]

が活動を行い、編み物における初歩的な行程から練習を重ね、花束の作成まで至った。作成した花束は子ども若者が集う施設(区民ひろば要、区民ひろば千早、豊島体育館)に寄贈をし、居場所を必要としている人に届くよう団体チラシと共に掲示をしていただいている。学習室では大学生がレポート課題や卒論準備を実施し、卓球は編み物や課題の合間のリフレッシュに楽しむ人が見られた。スタッフは利用者一人ひとりの状況に配慮しながら信頼関係の構築を重視し、サークル内での交流促進や制作活動の伴走支援、寄贈先の調整、物品準備等を行った。居場所に関するアンケートについては月に入ってから利用者を対象に実施したところ、「編み物ができるようになって嬉しかった」「卓球が楽しかった」「週 1(開室)は少ない」などの意見があげられた。

(2) メンタルヘルスに関わる相談及び検査事業

不登校の子どもやその保護者を対象として、相談支援を実施した。相談内容は、児童の生活状況や特性を踏まえた支援方法の検討をはじめ、学校との関係、進路に対する不安、家庭内コミュニケーションなど多岐にわたった。必要に応じて継続的な相談支援を行い、今年度はのべ 10 名を支援した。

心理検査については、実施体制を整備していたものの、実施希望者がいなかったため、今年度の実施はなかった。

(3) 子ども若者のメンタルヘルスに関わる研究啓発事業

今年度は桜丘高校でのキャリア講演会と、大学との共同研究、大学生を対象とした児童支援研修会を実施した。事業の詳細を以下に示す。

・『桜丘高校キャリア講演会』

高校生を対象に、不登校支援や居場所支援の実践を踏まえたキャリア講演を実施した。心理・福祉・教育分野における仕事や、地域で子ども若者支援に関わる活動について紹介し、大学で心理学を専攻したあとの進路について考える機会を提供した。

・『東京学芸大学研究室共同研究』

東京学芸大学の研究室と連携し、フリースクールにおける支援実践や子どもの心理的变化に関する共同研究を実施した。現場での実践知と学術的知見を結びつけながら、子ども若者支援に関する知見の蓄積を行った。

・『大学生向け児童支援研修会』

大学生を対象に、発達障害や不登校など心理的支援を必要とする児童と関わる際に必要となる基礎知識や支援方法について、臨床心理学の視点から学ぶ研修会を実施した。実際の支援現場を踏まえながら、子どもとの関わり方や配慮事項について理解を深める機会となった。

(4) 外部団体に対する研修講師派遣およびコンサルティング事業

希望団体が居なかったため、実施しなかった。

2 事業の実施に関する事項

(事業費の総費用【12,765】千円)

定款に記載された事業名	事業内容		場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
子ども若者の居場所づくり事業	不登校や居場所を必要とする子どもを対象に、週5日開室するフリースクールを運営する。	月16日程度 10:00~15:00	法人事務所	10	心理支援・居場所支援・学習支援を必要としている子ども	761	12,729
	豊島区すずらんスマイルプロジェクトの受託事業として、不登校生をはじめとする中学生～24歳の若者が利用できる『だちやカフェ』を運営する。	月4日程度 15:00~17:30	法人事務所	5	居場所を必要としている中学生～20代の若者	41	
メンタルヘルスに関わりの相談及び検査事業	不登校の児童やその保護者を対象に相談を実施する。	月1回程度 土曜日	法人事務所、オンライン	2	心理支援を必要としている子ども、保護者	13	36
	メンタルヘルス支援を要する者に対して心理検査を実施する。	年5回 不定期	法人事務所	2	心理支援を必要としている子ども	0	
子ども若者のメンタルに関する研究開発事業	地域の子ども若者を対象とした体験イベントや、子ども若者支援に携わる人材へのセミナー等啓発事業、メンタルヘルスに関する調査・研究を実施する。	随時	法人事務所、東京都内、オンライン	5	地域の子ども、保護者	289	0
外部団体・研修センターに修めようとする研修派遣事業	子ども若者事業に携わった支援者を対象とした研修及びコンサルテーションを随時実施する。	随時	法人事務所、講演先、オンライン	5	子ども・若者の支援にあたる団体・個人	0	0